

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【研究課題】

骨折リエゾンサービス(FLS)クリニカルスタンダードをクリニカルパスに導入後の現状と課題

【研究計画の概要】

○目的

医療の高度化・複雑化や高齢化などによる医療費の高騰により、医療費を抑制するための政策が推進されている中で、対策の一つがDPCである。医療費の包括払い制度の導入により、医療機関にとって、医療の要純化と効率化が急速な課題となった。クリニカルパスは医療の標準化に有用なツールであり、パスをDPCに活用する医療機関が増加している。そこで二次性骨折予防管理料算定に伴い、算定基準の漏れを無くし、統一した、看護が展開できるようにするためにクリニカルパスに骨折リエゾンサービス(FLS)クリニカルスタンダードをとり組むことにした。しかし、算定基準のもれなく取り組むことが出来ているのか、現状の把握や確認、今後の改善策・問題点など明らかにする必要がある。

○研究期間

倫理審査終了後～2026年3月

○対象となる方

大腿骨近位部骨折に伴う緊急入院となった患者がクリニカルパスに反映した患者
死亡、予後不良、転院搬送となった患者は研究対象から除外する。

○研究に利用する試料、情報

名化したID、性別、年齢、受傷前情報(受傷前住居・活動性・全身状態・認知度)、疾患情報(骨折の種類)、手術関連情報(受傷日・入院日・手術日・麻酔時間・手術待機時間)、術後の急性期情報(生存状態・褥瘡の有無・内科関与・術翌日立位)、退院情報(退院先・退院日・入院期間・骨粗鬆症治療)、入院から30日・120日・365日時点の再入院の有無・再手術の有無・生存状態・活動性・住居・骨粗鬆症治療などについての情報を使用します。

○倫理的事項

研究では、研究対象者の個人情報及びプライバシーを保護し、研究対象者が特定されないように匿名化を図り十分に配慮する。また、得られたデータはUSBメモリーに保存し、外部への持ち出しを行わない。研究終了まで鍵のかかる場所で厳重に管理し、研究終了後は内容を破棄し、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。得られたデータは本研究以外の目的で使用することはない。

○その他

研究に参加することで、新たな費用や謝礼金の発生はしない。また、研究に関して開始すべき利用相反も関係ない。

【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 2西病棟 看護部

研究責任者: 米川 和子

電話:029-231-2371(代)